

<JGGA 一般 対象アンケート集計>

「ゴルフクラブのスペック測定に関するガイドライン（シャフト編）」アンケート集計結果とJGGAからのご説明

この度は、アンケートにご回答いただき、誠にありがとうございます。

また、協会の本取り組みにご賛同いただき、重ねて御礼申し上げます。本ガイドラインに関しては、この先普及促進に対する懸念、現実問題としての測定器の選定、実際の測定値と体感性能のギャップなど、推進するための課題はまだ多く残っています。

協会としては、2015年に定めた「ゴルフクラブのスペック測定に関するガイドライン」の普及も含め、ゴルファーの皆様により比較検討のしやすい市場環境の整備に力を注いで参りますので、引き続きご理解ご協力よろしくお願い致します。

アンケート結果は以下の通りです。ご確認ください。

回答いただいたゴルファー：2名

黒字……寄せられたご意見・ご質問 など

青字……JGGAからのご回答・ご説明

シャフト硬さの項目に関する回答：賛同する 2名 賛同しない 0名

トルクの項目に関する回答： 賛同する 2名 賛同しない 0名

質量の項目に関する回答： 賛同する 2名 賛同しない 0名

その他の意見：

・プロジェクトX系の表示：4.0～7.1の表示等も統一されることがわかり易い。

⇒ご意見ありがとうございます。ご指摘のように、シャフトブランドやクラブメーカーのモデルラインアップの組立て、考え方の相違などにより硬さの表示＝フレックス に関しては、統一されていないのが現状です。長らくこの状態が続くことで、お客様にも混乱をきたす危険性があることから、今回参考値としてスパン設定をして「振動数」を表示することから始めることを提案させていただきました。ご要望のような統一された表示への道のりは長いですが、一歩ずつ進めてまいりますので、ご理解いただければ幸いです。

・ダンロップの「インターナショナルフレックスコード」のようなものがあるとわかり易い。

⇒今回、「振動数」をシャフト硬さを比較する測定方法として推奨するかたちをとったのは、この方法が、歴史も古く、また販売サイドにおいては浸透度合いが高く、数値での比較が出来る（分かり易い）……と言うことで推奨することにしました。今後の方向性としては、「より分かり易い……」を絶えず意識して、ガイドラインの作成を進めてまいります。

以上 ご協力ありがとうございました。